

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 665

政策体系	12	事業分類	ハード事業	所管部局	教育委員会 教育総務課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 3. 中学校 - 1. 中学校 現年		
事業名	中学校改修事業				
細事業名	中学校改修事業				
				評価表作成者	教育委員会 教育総務課 山口 浩之

1. 事業の概要

安全・安心な学校づくりのため改修事業や耐震補強事業を行い、中学校施設における良好な教育環境整備を図る。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

安全・安心な学校施設とするための事業（改修事業・耐震補強事業）

② 事業を実施する必要性

安全・安心な学校施設とするためには必要不可欠である。（改修事業・耐震補強事業）

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	10,037	7,707	109,017	8,536	6,000	55,000	72,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	4,100	1,997	0	0
	国・府支出金	千円	0	5,208	71,252	3,927	3,000	25,000
	地方債	千円	0	1,800	33,584	0	0	24,700
	一般財源	千円	10,037	699	81	2,612	3,000	5,300
職員等の従事人員	人/年	—	0.15	0.30	0.40			
人件費	千円	—	1,252	2,350	3,069			
事業費総額	千円	—	8,959	111,367	11,606			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。
 ※未来づくり交付金3,927,000円 義務教育施設整備基金繰入金1,997,000円

4. 主な事業費の内訳

殿田中学校夜間照明施設照明自動点灯盤等移設工事 3,496,500円（委託料・工事請負費）
 八木中学校校舎耐震補強計画等認定業務委託 1,365,000円（委託料）
 八木中学校屋内運動場耐震補強計画作成業務委託 3,675,000円（委託料）

5. 事業結果の概要

改修工事等により学校の安全・安心が図れた。
 殿田中学校夜間照明施設照明自動点灯盤等移設工事を実施
 八木中学校校舎耐震補強計画等認定業務を委託
 八木中学校屋内運動場耐震補強計画作成業務を委託

6. 活動の詳細

(1) 殿田中学校夜間照明施設照明自動点灯盤等移設工事		
殿田中学校夜間照明の分電盤付引込柱及び照明自動点灯盤がグラウンドに飛び出した形で設置されており、非常に危険なため、グラウンド外に移設を行った。	平成22年8月～平成22年12月	設計監理費 441,000円 工事請負費3,055,500円
(2) 八木中学校校舎耐震補強計画等認定業務委託		
耐震診断により要補強と判定された八木中学校校舎について、耐震補強計画の認定を受けた。	平成22年10月～平成23年3月	設計費1,365,000円
(3) 八木中学校屋内運動場耐震補強計画作成業務委託		
耐震診断により要補強と判定された八木中学校屋内運動場について、耐震補強計画の作成を行い、認定を受けた。	平成22年10月～平成23年3月	設計費3,675,000円

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

中学校施設の耐震補強事業の推進ができた。安全安心な学校づくりのため今後は早い時期に未補強施設の耐震補強工事の実施を計画する。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

耐震補強工事の計画的な実行ができ、安心安全な学校づくりができた。一部22年度へ事業を繰り越す。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
南丹市学校施設耐震補強計画に基づく改修の時期を議論した。
- ②当該事業のアピール事項
Is値0.3以下の施設について、耐震化促進に努めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
有利な補助制度がある間に、Is値0.3以下の施設の耐震化を目指す。